

## 第5章 まちづくりの実現に向けて

---

### 5 - 1 まちづくりの体制

これまでに記述したまちづくりを推進するにあたっての基本的な考え方を以下に示します。

#### 各主体間の連携の強化

狛江市の将来都市像の実現のためには、市民、事業者、行政が連携してまちづくりを進めることが重要です。狛江市都市計画マスタープランの共有化を図るとともに、まちづくりに関する情報の周知、市民のまちづくりへの参加の場の拡大など各主体の連携の強化に繋がる取組みを行います。

#### 市民主体のまちづくりの支援

行政主導から市民が主体となるまちづくりへの転換期を迎えています。まちづくりは、市民が自ら責任を持って取り組むことにより、「地域力」を高め、地域に愛着を持つことへとつながります。

地区まちづくり計画、地区計画の策定など地区単位でのまちづくりの推進、市民が主体となったまちづくり活動への支援、また、まちづくりへの関心を誘導するための支援を行います。

#### 庁内体制の整備

まちづくりは広範囲にまたがっており、関係各課の横断的な連携が必要です。狛江市都市計画マスタープランの共有化を図るとともに、まちづくりに関する横断的な情報の共有化を図ります。

また、市に限らず国、東京都、周辺区市などとの連携も強化します。

#### 財源の確保と効率的な事業推進

各種の施策の実施にあたっては、必要な財源を確保することが不可欠となります。

厳しさを増す経済・財政状況にあって、多くの予算をまちづくりに投じることは困難な情勢ですが、基金の積み立て、必要な事業への東京都などからの補助金などにより、財源の確保を図ります。

施策や事業の重点化を図るとともに、民間事業者の活用の推進、場合によっては受益者負担による事業推進なども検討・推進することによって、効率的なまちづくりを進めていきます。

#### 狛江市都市計画マスタープランの進捗管理

狛江市都市計画マスタープランに基づくまちづくりを進めるため、庁内及び市民参加を踏まえた手法により進捗管理を行います。また、社会経済状況に大きな変化が生じた時など必要に応じて見直しを行います。

## 5 - 2 まちづくり施策の推進戦略

第4章に示した各種のまちづくりに関わる施策は、その実現にあたって、他分野の関係する施策と連携させながら総合的・戦略的に推進する必要があります。こうした推進戦略の中でも特に重要なのは以下の4つの取り組みです。

### 土地利用と景観の誘導戦略：狛江市まちづくり条例の検証・見直し

狛江市都市計画マスタープランの方針を実現するため、平成15年に狛江市まちづくり条例を策定しましたが、社会経済状況などが変化したことにより、策定時に想定していなかった状況などに対応する必要性が生じています。

都市計画法・建築基準法による土地利用規制・建築規制を運用するだけでは、今回の改定により定めた方針の実現を目指すためには不十分であり、また現行の条例・規則についてもさらに改善すべき点があることから、狛江市まちづくり条例を検証し、見直しを行います。

### 歩きやすいまちづくり戦略

誰もが歩きやすいまちづくり、自転車の活用、防災性の向上などの多角的な観点から、「毛細血管」のような有機的な「生活のネットワーク」と「水と緑のネットワーク」の形成に重点を置きます。

都市計画道路などについては、自動車交通処理に偏った道路とならないように留意し、「生活のみち」として機能するような工夫をします。

また、緑地公園の延伸などの構想を推進するほか、主要生活道路や生活道路といった身近なオープンスペースや道路の改良に取り組みます。

### 安心・安全まちづくり戦略

狛江市は、震災時の火災や家屋の倒壊などにより避難が困難になることが懸念される基盤未整備の低層市街地や、水害に対する脆弱性を抱えています。これについて、上記の「歩きやすいまちづくり戦略」と連携させながら、建物の建替えや耐震補強による耐震性・防火性の向上、狭あい道路の解消、水害対策の推進などを総合的に進めます。

また、都市計画道路は、震災の発生時の延焼遮断や救援・避難などの防災面での機能を持つことから、その整備にあたっては、日常的な交通機能や景観面に関する配慮だけでなく、延焼遮断機能など防災性の向上についても配慮します。

### 狛江らしい文化と景観育成の戦略

狛江らしい文化と景観の保全、創出、育成のため、狛江らしさ・地域らしさを持っている文化資源・景観資源を広く発見し、市民や市外各方面への周知・啓発を行い、市民の文化活動や地域社会の活動を支えるための場の整備を、さまざまな方法で進めます。

また、景観形成のためのガイドラインやルールについて、狛江市まちづくり条例と一体的に運用することなどを検討していきます。